

専門部会の構成団体

栄小学校区コミュニティ協議会

役員会

(予算、事業運営、部会、他団体との連絡調整)

専門部会  
(事業の実施、原案作成、活動)

部会名	総務部会	安全・環境部会	厚生・文教部会	自主防災部会
構成団体・組織	総務委員会 事務局 監査委員会 会計 保護司会 	防犯協会 防火連合 公園愛護会 育樹会 栄小子供サーフェイスタッフ 	日赤 子供ふれあいスクール PTA 老人クラブ・婦人会 地区社会福祉協議会 民生・児童委員協議会 	栄小学校区全自治・町内会組織 公的団体組織 

平成21年度 事業計画 (21年4月1日当初の予定)

部会名	事業	実施時期
総務部会	1 総会開催 2 広報誌の発行 3 明るい町づくりポスターの作成	5月 9月 9月
安全・環境部会	1 栄小学校区夜間パトロール 2 消防体験訓練 3 交通安全運動 4 登下校時安全パトロール	7月 9月 9月 通年
厚生・文教部会	1 栄地区民生委員・児童委員協議会との連携・協調・協力 2 社会福祉協議会栄支会との連携・協調・協力 3 PTA活動に対する支援等、子ども会・ふれあいスクール等の支援、回覧物等の協力	7月 通年 通年
自主防災部会	1 防災研修会の開催 2 防災訓練 3 広報誌の発行	7月 8月上旬 11月

編集後記

2月の大雪から2ヶ月が過ぎ桜の開花情報、入学式、入社1年の節目の時期を迎えました。栄コミ協も4年目になり、子供たちの健全な成長を願って、地域の皆様方と知恵を出し健全な明るい家庭・まちづくりにしたいものです。いろいろのご意見、ご要望をお待ちしています。  
発行：栄小学校区コミュニティ協議会総務部会 発行責任者 久我 隆利

栄ふれあい

第3号

平成22年3月31日

わがまち 栄コミ協



栄小学校区コミュニティ協議会  
会長 吉江 常浩

例年のない大雪に見舞われた如月、ようやく春の陽光とさくら開花だよりが聞こえる頃となりましたが皆様にはいかがお過ごしでしょうか。  
栄コミ協も設立4年目を迎え、昨年度の総会で会長を引き受けました吉江でございます。  
「自分たちのまちは自分たちの手で」をモットーに総会で各専門部の事業計画を提案し、この一年間取り組みを進めてまいりました。お陰さまで地域の皆さまから栄小学校区コミュニティ協議会の事業にご理解とご支援、またご参加を賜り感謝を申し上げます。  
22年度も引き続き、主に防災に関する講演や訓練、災害時要援護者の対応や安心安全な町づくり、[緊急医療情報キット]を活用し高齢者や、お身体に不安をお持ちの方等の見守り、優しい思いやりのある栄コミ協を推し進めていき、これからも「地域と行政の協働のまちづくり」を掲げ自立性のある地域を目指し頑張っていきたいと思っております。  
自治・町内会の皆様からいろいろご意見をいただきたいと思っております。  
これからもご理解ご支援いただけますようお願い申し上げます。

栄小区コミュ協と一体となって

栄地区民児協 山岸 龍三

今年度の栄小学校区コミュニティ協議会の新年会に、私たち地区の民生委員児童委員13名全員が参加しました。私たちグループの一員である吉江協議会会長から「地域が抱える諸問題に際し、いろいろな活動があるが、その解決に是非、民児協との協働活動で解決していきたい」との要請があり、出席させていただきました。  
以前の時代と異なり、少子高齢化を迎えた現代社会では、高齢者の孤立・孤独化の問題、それに我が国はもとより世界的に発生している自然風水害の問題（高齢者の要援護）など高齢者に係わる問題が山積しております。この他に、児童虐待や犯罪被害に係わる問題、長引く不況からの生活困窮者の問題などが考えられ、一口に言って一安心して住み続けることができる地域社会づくり一が、私たちコミュ協や民児協の大きな活動・役割と思っております。

それは、「1+1=2」の如く、お互い手を取り合って、より大きな運動力としていく必要があります。その一例として、昨年6月7月に、栄小地区社協とタイアップして活動しました「緊急医療情報セット」づくりの活動がありました。これは皆様ご承知のように、災害時、高齢者を地域で見守る運動を目的としたものです。

これは新潟市で最も高齢化率の高い当地区としての最重要課題の一つでした。この折にも、各自治会長を主としたコミュ協皆様方の協力のもとでスムーズに運動・活動が進行しました。

以上のように、今後とも、地域の特性に合った福祉の充実に、栄小学校区コミュ協と強力な連携のもとで、活動を進めていきたいと思っております。

総務部会

安心安全な地域を目指して

総務部会 部長 久我 隆利

昔、栄小学校の所が信濃川、阿賀野川が合流して海へ注ぐ開門でありました。その時代新潟港が繁栄し日本でも有数の港でありました。

日本海へ夕日が沈む美しい自然環境と新潟港の文化と伝統と由緒ある地域に住んでいる私たち。老人を尊敬し子供たちを愛し互いに助け合い努力して明るく安心安全な町、栄小学校区コミュニティ協議会にしていきたいと思います。



- 総会の準備・資料作り
- 栄小児童による防犯、事故防止 明るい町作りポスターの掲出
- 「栄ふれあい」便り広報誌の発行



地域住民の皆様が「栄ふれあい」を通じて明るく安心・安全に暮らせる地域社会を目指して一緒に活動し輪を拡げていきたいと思います。誌にご意見ご要望等がありましたらご一報お願いいたします。

安全・環境部会

今年度の事業報告

安全環境部会 部長 中川 治平

- 7月19日各自治・町内会の防犯委員による一斉街頭パトロールの実施
- 10月18日「防犯教室」の実施  
中央警察署の指導による振り込め詐欺被害撃退の一環として警察官による寸劇を取り入れて対応について都度説明をしていただき解りやすい有意義な防犯教室を開催
- 振り込め詐欺被害者防止推進委員として金融機関へ防止依頼訪問活動  
平成21年度県内の振り込め詐欺被害140件1億6,730万円、融資保証金詐欺以外は、60歳以上の女性に被害が多い
- 10月28日、29日四ツ屋町、翁町、早川町周辺において車両のタイヤパンク連続器物損壊事件が発生した。早速各自治・町内会の防犯委員による強化パトロールを実施
- 3月2日中央区内に「警察官」と名乗る振り込め詐欺被害発生、3月5日附船交番と振り込め詐欺防止推進委員が高齢者宅へ訪問し注意喚起を促した
- 7月20日（海の記念日）西海岸公園一斉清掃に参加（毎月4回西海岸公園清掃実施）
- 11月7日西海岸公園石碑モニュメント内の雑草刈り取り作業実施
- 防火週間に火の用心ののぼり旗を掲出し火災に対する注意喚起また、強風時には防火パトロールを実施。新潟市火災予防条例により平成23年5月31日までに住宅用火災報知器設置が義務付けられています。

-----栄地区では、21年度は火災発生はありませんでした。22年度も火災0件を達成しましょう-----

厚生・文教部会

栄小学校区コミュニティ協議会の発展を願って

厚生・文教部会 部長 吉沢 秀夫

今年、栄小学校区コミュニティ協議会は4年目を迎えます。コミュニティ協議会の組織は全国的に各地に設立運営されており、各地域に密着した活動が活発に展開されその重要性が広く認識されて参りました。

設立以来、星元会長、亀貝前会長、吉江現会長並びに役員一同が一丸となって地域住民の方々の暖かいご支援を受け、市及び関係組織団体、栄小学校、舟栄中学校、栄地区社会福祉協議会、栄地区民生委員の方々、児童委員協議会と連携、協力を得て活動を展開して参りました。

今後の重点運動としては、高齢者、一人暮らしの老人に対する声かけをして安否確認、孤独感の解消と福祉向上や安心安全に暮らしていけるよう広い意味で努めていきたいと思っています。

地域の皆様方のご協力とご支援を今後とも宜しく願います。



防災部会

まずは避難

防災部会 部長 坂井 厚夫

平成21年度の訓練をかえりみると、過去3回の避難訓練を実施し、消化器の使い方、骨折、出血などの手当、応急担架の作り方、炊き出し、AED（心肺蘇生法）の実習訓練、火災による濃煙の逃げ方等々の実習をしてきました。

21年度は、『まず避難』を合言葉に要援護者の安否確認とともに、ともかく避難場所にいち早く避難することを実施しました。最後に参加者は中川防災士の講話を真剣にお聞きしました。

今年、2月28日に南米チリに大地震が起きました。気象庁で大津波警報を東北4県に、同時に避難勧告も発令。しかし避難した人は6%に過ぎませんでした。本当に大津波が来たならば、私達は過去の新潟地震、中越地震、中越沖地震、三条の洪水の経験で救助出来なかった苦い経験をしております。



日頃から声を掛け合い、自助、共助で避難をしましょう。昨年は20自治・町内会の半分の10自治・町内会で計画実施しました。今年は残りの10自治・町内会で立案計画を致します。皆様のご協力をお願いいたします。

